

What is American LRV?

アメリカの特許制度と当社の実績

矢部 一裕 車両事業本部 車両設計部

アメリカ向けLRVの特許

当社のLRVに関する特許出願は、1982年の国内出願をはじめとして国内外合わせて30件になるが、そのうちアメリカへ出願して特許が許可されたものは、下の表に示す5件である。

特許出願の内容を見ると、日本国内はもちろん、アメリカへの特許出願もやはり接続車両の最も重要な部分といえる接続構造に関するものが多い。

特許制度の違い

アメリカと日本の間にはこれまで以下のような特許制度の違いがあった。()内は日本の制度を示す。

- ・先発明主義（先願主義）
- ・特許期間は登録から17年（出願から20年）
- ・公開制度なし（全数公開あり）

・全出願審査（審査請求あるもののみ審査）など

特許制度には先願主義（1日でも早く出願したものが権利を得る）と先発明主義（出願日にかかわらず先に発明したものが権利を得る）があり、最近までアメリカのみ独自で上記のような特許制度をとっていた。

また、公開制度がないため故意に出願の変更を繰り返して特許成立を先送りし、その技術が一般に浸透したのを見はからって特許化をはかり、ある日突然浮上してきて膨大な損害賠償を多くの会社に請求した特許（サブマリン特許という）もあった。

しかし、世界的に特許制度の調和をはかる必要から、アメリカもようやく重い腰を上げつつあり、すでに権利期間は出願から20年に改正されており、2002年6月から公開公報を見ることもできるようになった。

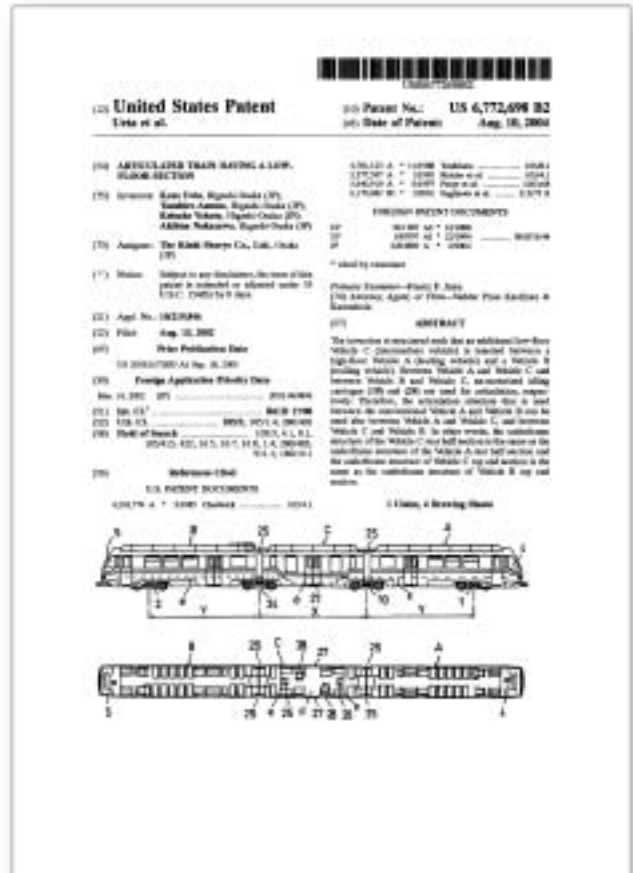
2007年9月には先発明主義から先願主義に変わる法案が、アメリカ議会下院を通過したので、近く制度が変わる見込みとなっている。

表1 当社のLRVに関するアメリカ特許権

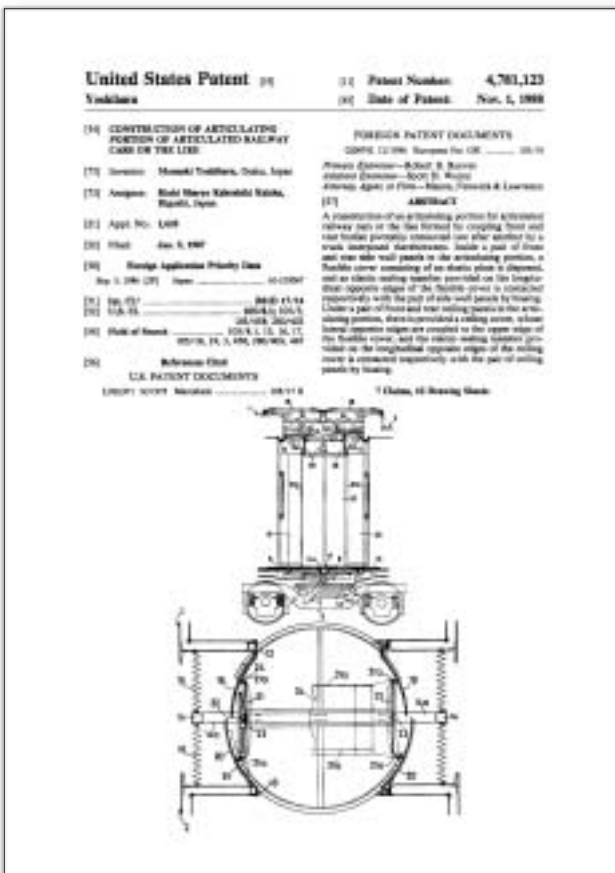
No.	特許番号 (登録日)	名 称	部 位	適 用
1	U.S. PAT 4,781,123 (1988/11/01)	CONSTRUCTION OF ARTICULATING PORTION OF ARTICULATED RAILWAY CARS OR THE LIKE (接続車両の接続部の構造)	接続部構造	MBT ボストン
2	U.S. PAT 6,167,814 (2001/01/02)	RUNNING STABILIZING LINKAGE SYSTEM FOR THE JOINT OF COACHES (車両連結部における走行安定用リンク機構)	屋上接続部リンク構造	NJT ニュージャージー
3	U.S. PAT 6,170,682 (2001/01/09)	UNDER-FRAME STRUCTURE (接続部の台枠構造)	接続部構造	NJT ニュージャージー
4	U.S. PAT 6,196,135 (2001/03/06)	SHOCK ABSORBING UNDERFRAME STRUCTURE FOR RAILROAD CAR (鉄道車両用衝撃吸収台枠構造)	先頭台枠衝撃吸収構造	NJT ニュージャージー
5	U.S. PAT 6,772,698 (2004/08/10)	ARTICULATED TRAIN HAVING A LOW-FLOOR SECTION (低床部を有する接続車両)	低床式中間車	DART ダラス

今後の特許出願について

アメリカにおいて、ほかにはない当社独自のLRV技術を守るとともに新たな受注に結びつけるために、そしてアメリカにかかわらず地球温暖化対策として見直されつつあるLRVの需要に対応していくためにも積極的に新技術の開発と特許出願を行い、権利を活用できるようにしていかなければならない。



2004年に登録されたDART SLRVに関する特許



1988年に登録された当社初のアメリカ特許